



CDE-Chiba制度のポスター



糖尿病で通院されている方であり、日本で約1千万人の方にお聞きしますが、CDPE患者さんがこの病気と闘っているか？ その前に糖尿病についてお聞きしましょう。

糖尿病は生活習慣病の代表

増え、糖尿病管理はしやすくはなってきたとはいえ、十分とはいえません。また、薬だ

CDE-Chiba制度

糖尿病療養をサポート

使っていれば管理できる。そんな時、看護師や、場合、時間をかけて丁寧に患者さんと接する役割の人が必要になります。

よいか。そんな時、看護師や、場合、時間をかけて丁寧に患者さんと接する役割の人が必要になります。

一方、医療機関側からみると、自身の病気と闘う前向きな取り組みが欠かせないので、2012年に

皆さんの糖尿病の療養を助けるために、千葉県の糖尿病療養指導士（愛称CDE-Chiba）を立ち上げました。

この制度は、糖尿病の予防や治療、療養に関するサポートを広く養成し、資格として認定するものです。CDPEは、指導や相談を通じて療養上の正しい知識や技術を患者さんに伝授する役割



療養機関に勤める看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、健康運動指導士、医療事務などだけではなく、幅広く、薬局薬剤師、歯科関係者、介護関係者、地域の保健師・栄養士、学校関係者などにも加わってもらっています。現在までにおよそ1300名が資格を取得しました。

や患者さんの療養上のサポート、つまり療養支援する役割を担っています。

また、医療機関での糖尿病診療レベルを向上させる役割、患者さんと医師との意思疎通を仲介する役割、医療連携として地域の施設間をつなぐパイプ役のほか、糖尿病の発症予防や治療の中断防止を積極的に行う役割が期待されています。そのため、医療機関に勤める看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、健康運動指導士、医療事務などだけではなく、幅広く、薬局薬剤師、歯科関係者、介護関係者、地域の保健師・栄養士、学校関係者などにも加わってもらっています。現在までにおよそ1300名が資格を取得しました。



（小象の会副理事長 三咲内科 クリニック 栗林伸一 イラス トモ）